第三亀戸中学校
学校支援地域本部事業

「魔法の携帯トイレ」作成プロジェクト in 防災宿泊訓練【８月２３日(水)～２４日（木）実施】

本年度で3回目になる防災宿泊訓練が、8月23日から24日にかけての1泊2日で、本校の多目的室や各教室を使用して行われました。生徒47名、地域の皆様12名、ボランティア講師の方7名、保護者5名、教員9名の参加で、今までで最大規模での実施となりました。

【災害学習プログラム1「避難所生活で役立つ知識」】

日本赤十字社東京都支部の講師の方々から、新聞紙で作るスリッパやレジ袋を活用した三角巾など、災害時に役立つ知識や技術について、講義と演習で教えていただきました。

〔生徒の感想〕　新聞でたくさんいろいろなものが作れることを知りました。また、助け合いや命の大切さなど、当たり前のことを改めて実感できました。(1年女子)

【非常食体験】

区の防災課よりアルファ化米（ドライカレー）とクラッカーをいただき、夕食として非常食体験を行いました。

〔生徒の感想〕　パラパラしたお米が、熱湯でおいしいご飯になったからとてもびっくりした。（1年男子）

非常食なのに普通のご飯を食べているみたいだった。クオリティが高くて、いつもと同じみたいだった。何の苦もなく食べられるようになっていてすごい。（3年女子）

【災害学習プログラム2、
グループワーク「クロスロード」】

クロスロードは、災害時に起こりうる状況を自分なりに判断して、YESかNOかを決め、その理由やどちらの立場も納得できそうな方法について、グループで意見を交換するゲームです。地域の方にもグループに入って

いただき、生徒と意見を交換していただきました。最後にグループで出た意見を全体で発表し、みんなで共有しました。

〔生徒の感想〕　思ったより難しい問題が多くて、たくさん考えさせられました。（２年女子）

　自分の考えたことと皆の考えたことが全く違っていて、驚くことが多かった。その違いを生かしたりして、皆が平和になる考えを導き出せたことに達成感を感じた。（３年女子）

【「魔法の携帯トイレ」作成】

　目黒星美学園中学高等学校の京百合子先生をお招きし、「わくわく♪防災減災」という題で、災害に対する普段からの心構えや、避難所で役に立つ「魔法の携帯トイレ」の作成の仕方を教えていただきました。

　上下水がストップしてもトイレに行くのを我慢しなくていいように、吸収ポリマーと臭断袋、黒いゴミ袋、結束バンドで「魔法の携帯トイレ」を作りました。最終的には全員で千個近い「携帯トイレ」を作成し、いざというときに備えることができました。

〔生徒の感想〕　トイレをがまんするだけで命をなくすというのに、がまんすることに驚いたけれど、知ったからちゃんと伝える。（２年男子）

　最初は1人1人の作業ですごく時間がかかったが、皆で分担して早くする方法を出したりして、チームワークが生まれた。被災地のトイレを見たとき、衝撃を感じた。とても辛い気持ちになった。（３年女子）

【銀マット、毛布等を使用した宿泊体験】

　自分たちで、銀マットや毛布を運び、持参したタオルケット等も使い、多目的室や普通教室で寝ました。

　思ったより寝心地が良かったと感じた生徒が47％、やはり寝づらかったと答えた生徒が36％でした。

〔生徒の感想〕　避難所では、知らない人とこの状態で寝ないといけないことの大変さがわかった。（1年女子）

　24日（木）の6:30頃から閉講式を行い、1泊2日の日程を無事終了することができました。ご参加いただいた保護者・地域の皆様、ご指導いただいたボランティア講師の皆様、本当にありがとうございました。